

「普請（ふしん）」とは、「普く請う（あまねくこつ）」とも読み、「力を合わせて作業に従事すること」という意味が含まれています。市民に身近な「まち」に「普請」の輪を広げていきましょう。

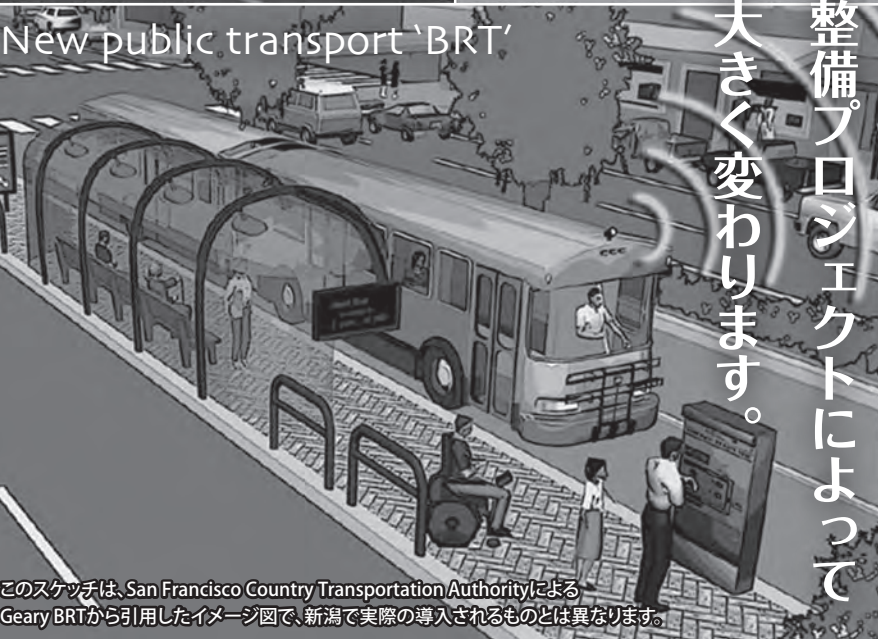
# ニイガタ まちぶしんぶん

新潟駅周辺整備とBRT整備に関する市民参加の取り組みを発信する広報紙

## 創刊号

平成24年11月9日発行

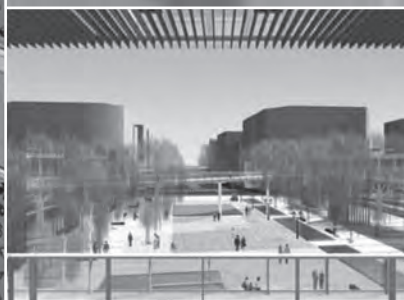
発行：新潟駅周辺整備に関する市民参加企画会議（略称：駅さか会議）／BRT整備に関する市民参加企画会議（略称：BRTさか会議）  
編集協力：特定非営利活動法人まちづくり学校／新潟市都市政策部新潟駅周辺整備事務所・新交通推進課



このスケッチは、San Francisco Country Transportation AuthorityによるGeary BRTから引用したイメージ図で、新潟で実際の導入されるものとは異なります。



Niigata station 'Bandai square'



2つの都市整備プロジェクトによって  
新潟の街が大きく変わります。

今、新潟市では2つの大きな都市整備プロジェクトが進行しています。新潟駅周辺整備事業と新公共交通システム・BRT（※）の導入です。この2つの都市整備プロジェクトが実施されることにより、新潟市の街ながが大きく変わります。

一見、別々のプロジェクトに見える新潟駅周辺整備とBRTの導入ですが、実は両者は密接に関連しています。今回BRTの導入が計画されているのは、新潟駅万代広場から古町を経由して白山駅までを結ぶ区間です。これを受け、当初は10年以上先であった万代広場の整備が、BRT導入に合わせて部分的に実施されることになりました。新潟の表玄関である新潟駅万代広場と街なかへの新しい都市交通が時を同じくして新しくなります。

この2つのプロジェクトは、共に市民参加を行いながら進めています。それならば、各々を別々のプロジェクトとして捉えるのではなく、一体的に捉えて情報発信を行うことにしました。つまり市民の方々に両方のプロジェクトに関する市民参加の取り組みなどの情報を1つでわかりやすく伝えるために、この「ニイガタまちぶしんぶん」は誕生しました。2つのプロジェクトに関連して実施される市民参加の取り組みは、この広報紙を中心にお伝えしていきます。

※BRT（Bus Rapid Transit / 次世代型バスシステム）：在来バスを高度化した交通システム



計画段階から街のユーザーである市民の声を伝えよう。

2つの都市整備プロジェクトは、行政（新潟市）が主体となつて実施されます。もちろん、そこには各分野の専門家が参画していますが、より良いまちづくりを進めるには、街のユーザー（利用者）である私たち市民の参画も不可欠です。どんなに立派なハードが整備されても、それが市民に利用されなければ意味はありません。計画段階から街のユーザーである市民の意見を聞き、愛着を持つて利用されるようにするために、2つのプロジェクトでは積極的に市民参加の取り組みを行います。

**市民参加の企画は市民で！**

行政事業への市民参加を行う場合、「市民の意見が本当に事業に反映されるのか？」という懸念が参加側に浮かんできます。

そこで、2つプロジェクトでは、

「市民と行政の架け橋」となる組織を設置し、そこが市民参加の企画・実施を行うようにしていきます。

**市民有志で構成される**

**2つの「きかく会議」**

新潟駅周辺整備における市民参加については、平成16年に「新潟駅周辺整備に関わる市民参加企画会議（略称「駅きかく会議」）」が市民有志で組織され、これまでに様々な場面で市民参加の場を企画・実施してきました。現在も「駅きかく会議」が

中心となって進めています。

BRT導入における市民参加については、今回、市民有志による新たな組織が今年9月に立ち上がりました。その名も「BRT整備に関わる市民参加企画会議（略称「BRTきかく会議」）」。

**きかく会議が担う役割**

2つの「きかく会議」は、次の3つの役割を各々の事業の中で担っています。

- ① 市民が考える・意見を述べる際の「正しいものさし」（正正確な情報）を提供する。
- ② 市民が意見を述べるオープンな場を設け、そこで出た意見を関係機関に確実に伝える。
- ③ 関係機関に伝えた市民意見がどう扱われていったのかを明確にし、それを公開する。

なお、両者は市民参加の場の企画についても、定期的に合同会議を開催して相互連携を図ります。情報発信についても、相乗効果を期待して両者が協力しあつて編集・発行しています。

**市民と行政の架け橋となる「きかく会議」の基本姿勢**

**【市民参加にあたっての基本姿勢】**

- ◆ 市民は街のユーザー（利用者）という視点から意見を述べる。
- ◆ 具体的な形にするのは専門家の役割。
- ◆ 最終決定を下すのは行政（=新潟市）。
- ◆ ワークショップは多様な市民意見を行政や専門家に伝える場である。（決める場ではない）

**【市民参加における基本プロセス】**

① 専門家が提示する案に対して、市民はまずそれを理解し、利用者目線から多様な意見を出し合う。



② 出された市民意見を整理し、専門家に伝える。

※無理して意見を一つにまとめようとはしない。多様な市民意見があるということも含めて情報を伝えることを基本とするため、意見が分かれている場合は両論併記とする。



③ 専門家は、多様な市民意見を踏まえつつ、専門家としての判断に基づいて案を修正する。

(①～③を数回繰り返す)



④ 専門家が提示した案を吟味し、行政が最終的に決定する。

## 万代広場基本計画の点検作業がスタート！

現在、新潟市では新潟駅付近の在来線高架化に併せた新潟駅周辺の整備が進められています。その中でも、駅舎を含めた万代・南口の駅前広場整備に関しては、計画づくりの各段階から市民の意見を聞きながら進め、平成21年に南口広場が整備されました。そして平成26年度には、新公共交通システム（BRT）の導入に併せて、万代広場の部分整備が予定されています。

基本計画が作られてから8年が経過した現在、社会情勢は変

化しています。また、南口広場は多様な形で市民に利用されていますが、使い勝手等について様々な意見も寄せられています。

そこで、駅前広場整備の基本計画を利用者目線で点検し、今後の整備に向けて市民の声を設計者に伝えることを目的に、今年度3回のワークショップを行います。

その第1回目となる「新潟駅万代広場を考えるワークショップ」が、10月7日（日）の午後、中央区花園にあるコープシティガ

レツソ4階ガレツソホールにて開催されました。当日は43名の市民が参加し、熱心な議論が行われました。

まずは駅前広場基本計画の概要を理解・共有しよう

ワークショップでは、まず最初に新潟駅周辺整備事業の現状と駅前広場基本計画の概要について、新潟市及び設計者から説明していただきました。特に駅前広場基本計画は作成してから8年が経過しています。設計の意図や市民意見をどう反映させた

のか等を、ここで改めて説明していただきました。

説明後、全体での質疑応答タイム。できるだけ多くの参加者からの質問を受けるために、最初に各グループで質問項目を話し合い、それらをまとめて回答していただく形式で行いました。とても多くの質問が出されましたが、市担当者及び設計者から二つひとつ丁寧に回答して頂いたことで、参加者との情報共有がしつかりとできたと思います。

### 南口広場の整備内容の検証

そして次は、南口広場の整備内容の検証を行いました。各グループには設計チームメンバーが1名ずつ入り、専門的な部分の解説・補足説明をしてもらいながら、南口広場の整備について「良かったこと」「改善が必要なこと」を話し合いました。

細かな部分ではたくさんの方の改善点が指摘されましたが、おおむね整備全般については良い評価だったようです。



# 南口広場の整備内容についての検証結果

第1回ワークショップで行った「南口広場の整備内容の検証」において参加者から出された主な意見です。

◎都市としての華やかさや回遊性が高まり快適な空間となった。

イベントスペースを設けて、それを駅の機能と結び付けることにより、より多くの人に紹介し、見せていくという視点から、単なる通過点としての駅という従来のワクをこえた駅の使い方を実現した。

◎新しい地域の玄関口にふさわしいきれいな景観となった。

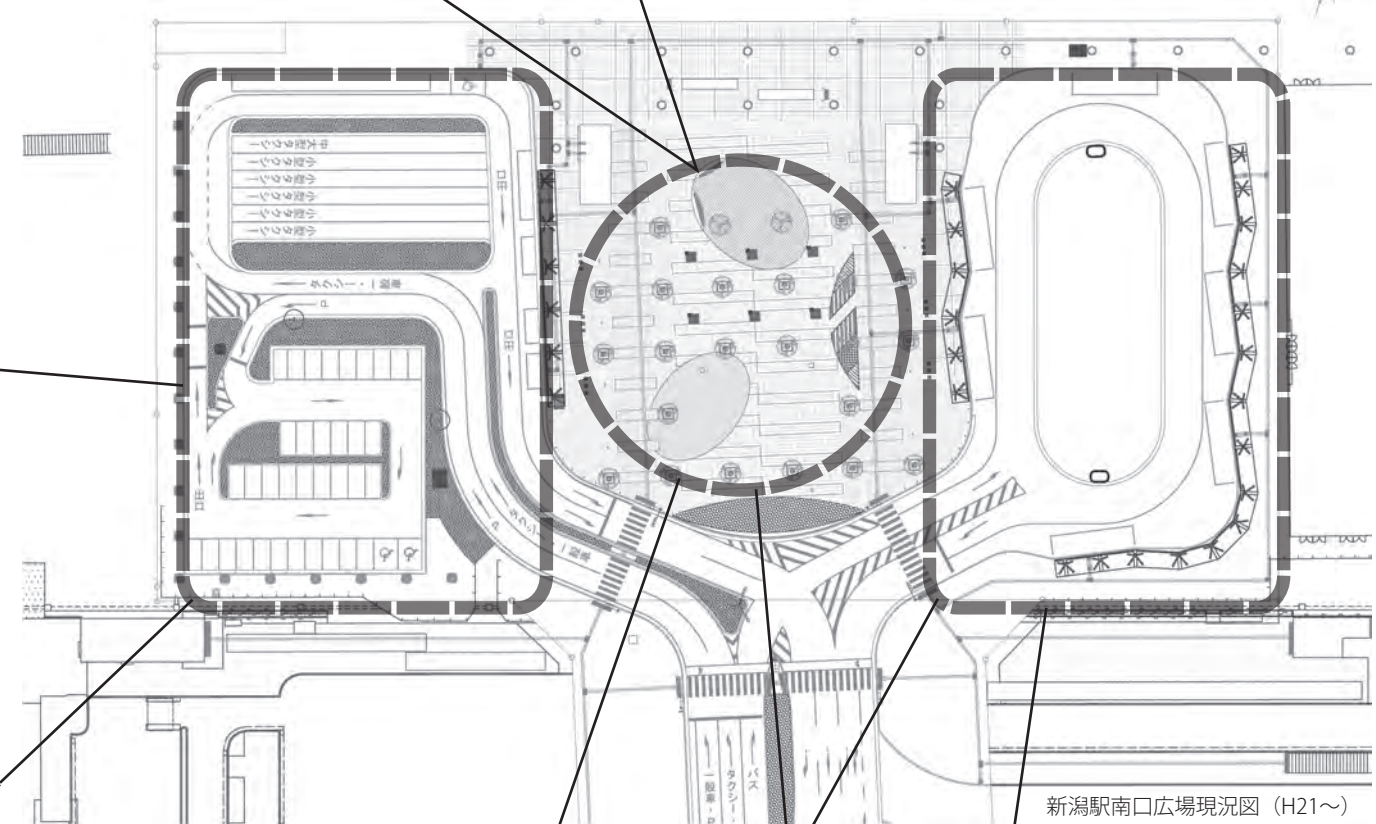
明るく広がりが出て、全体の景観は良くなった。新しい地域の玄関口というイメージができた。

◎イベント広場が賑わいを生み出すようになった。

広場でのイベントは大いに盛り上がる。賑わいが生まれた。

◎エロゾジーな設備はとても素晴らしい。

夏場にミストが出るのはいい。地熱で歩道の雪が融けている。電気を使わず雪を融かすエコな取組みは素晴らしい。



新潟駅南口広場現況図 (H21～)

◆案内表示・情報発信が不足している

案内板や表示板が少なく、わかりづらい(外国人に対しても)市民の声をもっと吸い上げて、わかりやすいまちにしていく必要があると思う

案内板が少なく、駅や広場の利用方法が分かりづらい。

◆冬季対策が不十分である

雪・雨・風の対策をしつかりと考えてほしい。現在、リムジンバスと普通のバス停のあいだが屋根がなく不便だ。

◆人が座れるベンチがもっとあるとよかった

リムジンバスを利用する用に、椅子や休憩場がほしい。広場にベンチがもっとたくさんあると良かった。

◆樹木や給排水設備の位置がイベント時に制約になる

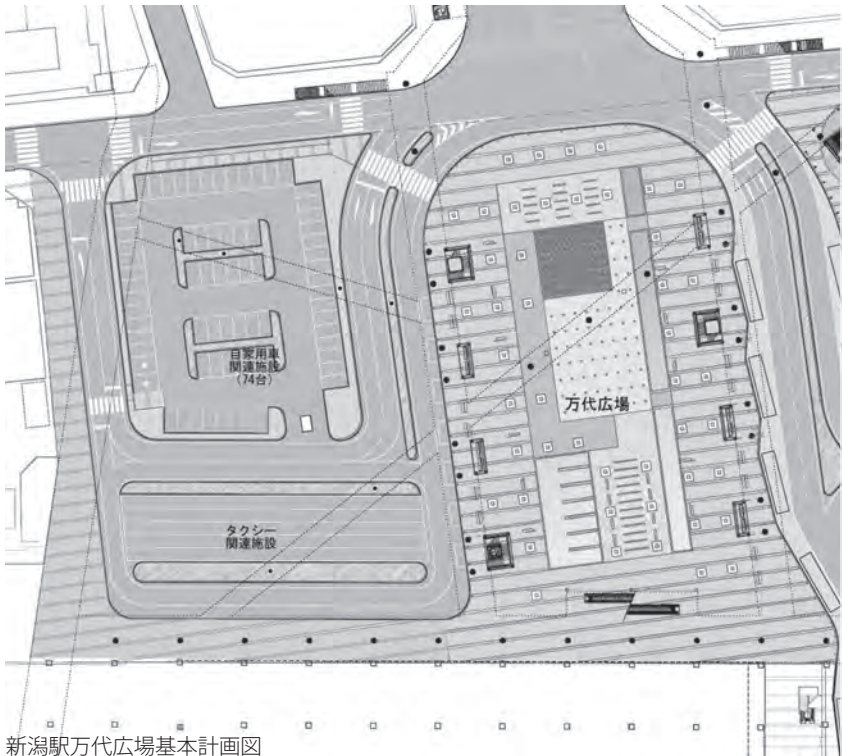
給排水ポイントを増やして欲しい。イベントスペースが狭い。

◆歩行者の安全性確保にもっと配慮を

歩行者に横断歩道を渡らせるのは危ないと思う。もっと安全に移動できるように考えてほしい。

◆改善が必要だと思う点◆

万代広場基本計画の点検は次回も引き続き行います。今回のワークショップでは、参加者への情報提供を丁寧に行ったこともあり、万代広場基本計画の点検については、議論の時間が十分に取れませんでした。そのため、第2回ワークショップでも引き続き点検作業を行います。



○人の流れを十分に考えることが大切。

広場の中心部も大事だが、両サイドに人の流れや賑わいを作っていく必要がある。そのあたりの工夫も講じてもらいたい。

○自家用車やバス・BRT・タクシーの交通処理を見直すべきでは？

BRT・バス・タクシーの動線を分けるのであれば、イメージを早めにしてほしい。交通の流れを改めて考えていく必要があると思う。南口の形状では十分に処理できていないのではないかと。変形五又路を改良する必要があるのではないかと。

○一時駐車場やタクシープールよりもイベント広場の確保を優先させては？

駐車場はいらない。むしろイベント広場として利用できるようにしたい。タクシープールが広くなりすぎないように、適正な規模にしてほしい。こんなに大きな駐車場やタクシープールはいらない。それよりも送迎のために一時利用できるようなスペースをきちんと確保してほしい。

○バス利用時の動線がわかりやすくなるようにしてほしい。

南北がつながるので、お目当てのバスにすぐ乗車できるよう、わかりやすい動線やサインをつくってほしい。各種案内所を統一し、わかりやすくしてほしい。

○広場の詳細については更に議論が必要。

計画だと新潟のシンボルとして樹木は柳を選定しているようだが、果たしてそれがいいのか？木陰をたくさんつくって夏も快適なスペースにしてほしい。水辺の管理、風雪、寒さ、凍結対策などの検討が必要。

○関係企業との連携・協議が不可欠

JRなどの関係企業も参加してもらい、一緒になつて協議したい。

◆一時駐車場・タクシープール付近がいつも混雑している。

タクシー、車の乗り降りの場所が渋滞する。新幹線の到着時刻など一時的な渋滞が特にひどい。

いつ見てもタクシー待機所が飽和状態。あんなに広いスペースは必要か？

イベント時に大渋滞になる。この駐車場は駐車料金30分無料なので、それを理由に停めに来るイベント利用者が多い。

◆道路線形や幅員、一時駐車場入口は再考する余地がある。

駐車場までの経路の道路幅が狭い。駐車場や送迎車で込み合っている時に、後方車が追い越しづらい。

※BRTなどの公共交通を増やすことでマイカーを少なくする必要がある、そうした意識を市民が持つよう努力することも必要ではないか。

# 万代広場基本計画についての主な意見

## ただいま、企画検討中！

BRTきかく会議は、9月5日に立ち上がりました。新潟市における新交通システムについては、市民の間でも様々な意見があります。それを踏まえた上で、「市民の暮らしがより良くなるためには？」という視点から、市民参加の場を企画していきます。

BRTに関する正確な情報が市民に伝わっていないのでは？

「まずは新潟市が考えているBRT整備のことについて、きちんと説明を受けよう。」BRTきかく会議の1回目は、担当課である新交通推進課からBRTについての説明を受けることからスタートしました。市としての基本的な考え方から、なぜBRTを導入するのか？既存の路線バスはどうなるのか？等、市民が疑問に

思っている点についても、丁寧に説明して頂きました。

説明を聞いた後、メンバー同士で意見交換を行ったところ、「これまで疑問に思っていた点がある程度は解消された」という感想が出る一方で、「これらの情報は市民にほとんど伝わっていない」という意見が大勢でした。担当課では、これまでに50回以上の説明会を行っているそうですが、説明会が行われていることすら知られていないのが実態です。

そのため、BRTきかく会議では、「BRT整備に関する正確な情報を市民に届けること」がまず必要であると考え、情報発信を活動の柱にしていきます。

また、説明して頂いた内容は担当課からの説明でもう一つ気になることがありました。それは、市からの説明は事業の全体像や必要性などに留まっており、「BRTを導入して市民の生活はどう変わるのか？」という市民目線での説明が不足しているということです。もしかしたら、「具体的なことが全然見えてこない」という市民意見は、ここに原因があるのかもしれない。

また、説明して頂いた内容は大半が市のホームページで公開されているようですが、「それがどこにあるのかわからない」「市民はそもそも公開されていることすら知らない」というのが実情です。そのため、「市民にわかりやすい表現での説明」を「市民の目にとまるような方法」で情報発信していくことが不可欠であると強く認識しました。



### 新潟市で導入を考えているBRTって？

#### BRTとは？

BRTとは Bus Rapid Transit の略で、次世代型バスシステム（在来バスを高度化した交通システム）のことです。低床型でスタイリッシュな高機能バス（2両連結の連節バス）が主に道路上に設けられた専用走行路を走行します。バス車両を使用するので、郊外などで一般道路への乗入れも可能です。

#### BRT導入に関する情報はどこを見ればよいのですか？

パンフレットや新潟市のホームページに情報が公開されています。ホームページのURLは、以下のとおりです。

<http://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/doro/kotsu/newsystem/index.html>

※トップページ→くらし・手続き→道路と交通→都市交通→新たな交通システムという順にクリックすると、情報を見ることが出来ます。

市民が知りたいことが「わかりやすい表現」で発信されていない!?

担当課からの説明でもう一つ気

大半が市のホームページで公開さ

なることがありました。それは、市からの説明は事業の全体像や必要性などに留まっており、「BRTを導入して市民の生活はどう変わるのか？」という市民目線での説明が不足しているということです。もしかしたら、「具体的なことが全然見えてこない」という市民意見は、ここに原因があるのかもしれない。

そのため、「市民にわかりやすい表現での説明」を「市民の目にとまるような方法」で情報発信していくことが不可欠であると強く認識しました。

また、説明して頂いた内容は担当課からの説明でもう一つ気

大半が市のホームページで公開さ

また、説明して頂いた内容は

大半が市のホームページで公開さ



市民へのプロモーション活動から始めよう！

市担当課との対話を通じて、「市民への情報発信が絶対的に不足している」という現状が浮き彫りになりました。そこでBRTきかく会議では、まずはBRTに関する市民向けのプロモーション活動に重点的に取り組むこととし、次の3つを基本方針として掲げて、具体的な企画を検討していきます。

まずはBRTきかく会議監修のQ&A集の作成から

- ◆ BRTについてきちんと学ぶ場・伝える場をつくる。
- ◆ 楽しみながらBRTのことを知ってもらおうイベントを開催する。
- ◆ 快適にBRTを利用するためのアイデアを出し合う場をつくる。

現在、BRTに関する情報は、新潟市のホームページで公開されています。ここには市が作成したQ&Aが掲載されていますが、市民が知りたい内容が網羅されているかという点、残念ながらそうではありません。

BRTきかく会議では、市民の視点から担当課に色々な疑問・質問を投げかけながら対話を積み重ね、それをQ&A形式にして公開しようと考えています。

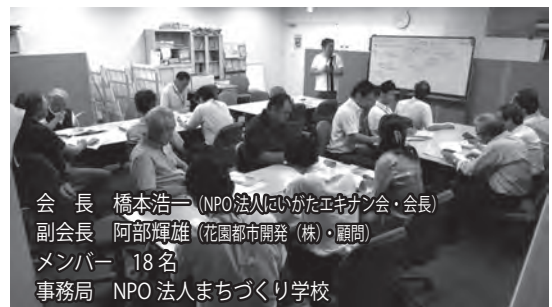
### 「駅きかく会議」と「BRTきかく会議」

市民有志で構成される2つの「きかく会議」についてご紹介します。

#### 新潟駅周辺整備に関わる市民参加企画会議（略称：駅きかく会議）

平成16年の発足時は、当時開催していた新潟駅前広場基本計画検討ワークショップの参加者有志で構成し、徐々にメンバーを増やしてきました。ただ、検討対象が南口広場だったこともあり、メンバー構成も駅南エリアに関わる人が中心でした。

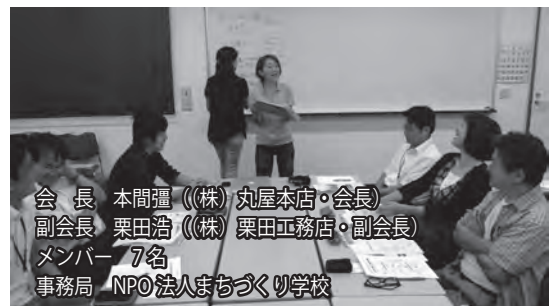
今年度は検討対象が万代広場ですので、構成メンバーを大幅に入れ替え、万代広場周辺の方々（民間事業者・町内会関係者など）に参画してもらって活動しています。



会長 橋本浩一 (NPO法人いがたエキサン会・会長)  
副会長 阿部輝雄 (花園都市開発(株)・顧問)  
メンバー 18名  
事務局 NPO法人まちづくり学校

#### BRT整備に関わる市民参加企画会議（略称：BRTきかく会議）

市内では、新しい公共交通システムに関して熱心に活動している市民団体があることから、その活動に参加している方に参画して頂いています。また、多様な視点を活動に取り入れるために、大学生や女性にも参画してもらい、活動をスタートさせました。BRTきかく会議については、今後、さらにメンバーを増やしていきたいと考えています。



会長 本間彊 ((株)丸屋本店・会長)  
副会長 栗田浩 ((株)栗田工務店・副会長)  
メンバー 7名  
事務局 NPO法人まちづくり学校

## 24年度のスケジュール

新潟駅周辺整備及びBRT整備に関する市民参加の予定は、下図のとおりです。

新潟駅周辺整備に関する市民参加の場としては、「万代広場を考えるワークショップ」をあと2回開催します。また、BRTについては、プロモーションイベントとワークショップを1回ずつ開催します。詳しい内容は、市報やポスター・チラシ、WEB等を通じてお知らせします。

### 【参加者募集！】第2回 新潟駅万代広場を考えるワークショップ

第1回ワークショップで実施した南口広場整備の検証結果を踏まえ万代広場基本計画の内容を設計者と共に点検します。

日時 **11月18日(日)**  
午後1時30分～午後4時30分

会場 **ホテルディアモント新潟**  
新潟市中央区本町6番町1099(地下1階)

定員 **50名**

【申込方法】  
11月15日(木)までに、住所・氏名・電話番号を記入し、メール・FAXで下記までお申し込み下さい。(必着)

【申込・問合せ先】  
新潟駅周辺整備に関わる市民参加企画会議(略称:駅きかく会議) 事務局: NPO 法人まちづくり学校  
〒950-2002 新潟市西区青山5-8-22 / tel. 025-201-9320 / fax. 025-201-9321 / e-mail. info@machikou.com

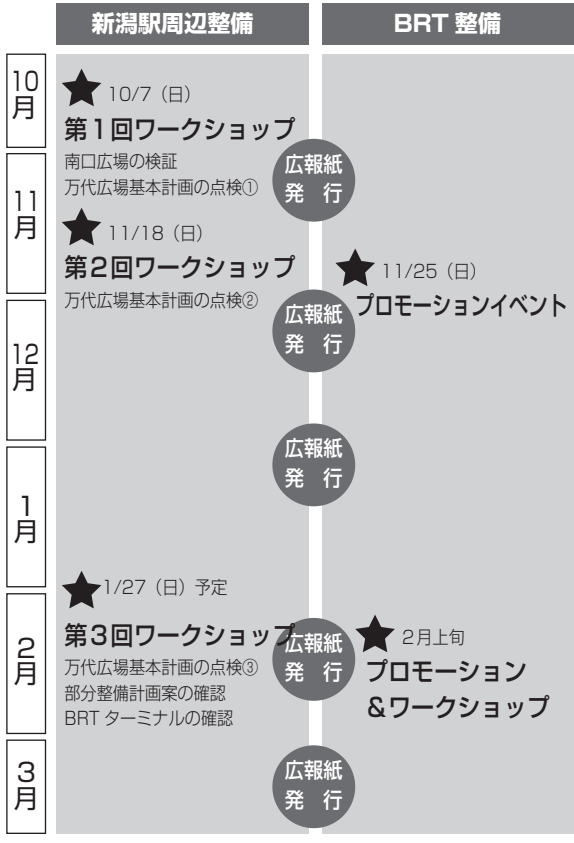
第2回新潟駅万代広場を考えるワークショップを以下のとおり開催します。今回は、前回行った南口広場整備の検証結果を踏まえ、設計者と対話しながら、万代広場基本計画の内容を市民目線で点検します。ここで出された意見は、設計者が内容をよく吟味した上で、万代広場基本計画に反映していく予定です。

今回からの参加も大歓迎です。ぜひご参加下さい。

日時 11月18日(日) 13:30~16:30  
 会場 ホテルディアモント新潟 (中央区本町6番町1099)  
 定員 50名  
 申込 住所・氏名・電話番号を添えて、以下へメールもしくはFAX・電話で11月15日(木)までにお申し込み下さい。

【駅きかく会議事務局 (NPO 法人まちづくり学校)】  
 TEL. 025 (201) 9320  
 FAX. 025 (201) 9321  
 e-mail info@machikou.com

図 新潟駅周辺整備・BRT 整備に関する市民参加の予定



編集後記  
 新潟の街を大きく変えるプロジェクトの市民参加が始まりました。新潟駅周辺整備事業では、多様な市民意見がある中で、10年以上も継続して市民参加を行ってきました。その結果、単にきれいな街が整備されただけでなく、新たな市民活動が芽生え、それが根付きつつあります。まだまだ長丁場になりますが、よりよい街を後世に残すために、協力しあって「まち普請」を進めていきましょう。